



環境マネジメント

自然環境を護り、環境・安全・健康・品質を良好に保つことを企業目的の一つとし、環境管理活動に取り組んでいます。

推進体制

「大日精化環境方針」に基づき、グループ全体で環境管理活動に取り組んでいます。

環境委員会は、化学物質管理委員会やエネルギー管理組織などと連携しながら、環境管理活動に取り組んでいます。地球温暖化対策として、当社グループの企業活動のなかで消費されるエネルギーの有効利用の推進、温室効果ガスや大気汚染物質、PRTR^{※①}対象物質の排出量削減に取り組んでいます。廃棄物は発生量そのものを削減する取り組みに加え、リサイクル化を推進しています。

また、環境関連法規の順守状況を確認するとともに、近隣住民の方からの苦情に対しては、その原因を調査し対応を取っています。

大日精化環境方針

- 1 経営者、全社員が環境管理活動に参画します。
- 2 環境に配慮した製品の開発に努めます。
- 3 環境負荷の減少に努力します。
- 4 法規、条例、協定などを守ります。
- 5 社会との調和を図るよう対話を深めます。

※① PRTR(Pollutant Release and Transfer Register)：有害性のある多種多様な化学物質がどのような発生源からどの程度環境中に排出されたか、あるいは廃棄物などに含まれて事業場の外に移動したかというデータを集計、報告し公表する制度。

環境中期3ヵ年計画を終えて

2013年度に第3次環境中期3ヵ年計画を策定し、2014年4月より目標に向かって取り組んできました。2017年3月で3年が経過しましたので、その活動結果をご報告します。

① 地球温暖化対策

エネルギー原単位を毎年1%削減することを目標とし、照明のLED化など省エネルギー機器への交換、エネルギー使用量の多い設備での管理徹底など継続的な取り組みを実施しました。

2013年度のエネルギー原単位は199.9ℓ/tでしたが、2016年度は204.0ℓ/tという結果でした。

これはエネルギー原単位の高い製品群の生産量が増えたことが要因と考えています。今後もエネルギー使用量の削減、効率的な利用を心がけていきます。

② 廃棄物削減／リサイクル推進

廃棄物を毎年3%削減、リサイクル率を毎年3%向上させることを目標とし、各事業所で独自の取り組みを行ってきました。特に当社グループの廃棄物の大半を占める

汚泥に関しては、リサイクル化や処理工程での改善を行い、発生量と最終処分量の削減に取り組めました。

2013年度の廃棄物発生量は9,866tで、2016年度は9,097tと2013年度から約8%削減することができました。リサイクル率は2013年度の53%から59.7%と着実に向上したため、最終処分量は2013年度の3,903tから2,974tへと約24%を削減することができました。

③ 環境会計

環境に対する当社の取り組み状況を開示する方法の一つとして検討してきましたが、環境保全効果や経済効果の算出方法などで不確定な部分が多いため、現段階では環境保全コストや環境保全効果を加えるなど、環境会計の趣旨に沿った形でコーポレートレポートの環境性報告を行うことにしました。

④ グリーン調達

環境負荷の少ない原材料や、あるいは環境負荷低減に積極的に取り組んでいる企業から優先的に購入することをグリーン調達と定義し、導入検討を行いました。その結果、国内外の取引先ごとの環境に対する取り組み評価方法に関する課題が解決に至らず、当面は従来から取り組んでいる購入原材料の含有化学物質の適正な管理を推進していくことにしました。

⑤ 化学物質排出削減

ノトルエンタイプなどの製品販売促進、顔料合成時の溶剤使用量の削減などを実施し、PRTR対象物質の排出量削減に取り組めました。2013年度のPRTR対象物質の排出量は222tでしたが、2016年度は195tと、3年間で27tを削減することができました。

⑥ 大気汚染・水質汚濁防止

公害防止と環境保全の観点から、大気汚染物質であるSOx^{※②}、NOx^{※③}の排出量の削減に取り組めました。重油などの燃料使用量の減少により、2013年度と2016年度との比較で、SOx排出量は1.0tから0.9tに、NOx排出量は21.8tから18.0tになりました。

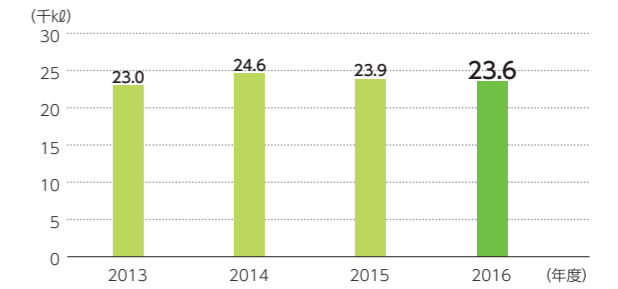
水質汚濁防止対策としては、工場排水の水質管理を徹底し、規制値を順守して操業しています。

自主的な調査の結果、環境基準を超えるダイオキシン類が検出された東海製造事業所及び東京製造事業所では、環境対策として土壌入れ替えなどにより汚染源除去を実施しています。東海製造事業所は2018年秋に、東京製造事業所は2019年末に対策を完了する予定です。

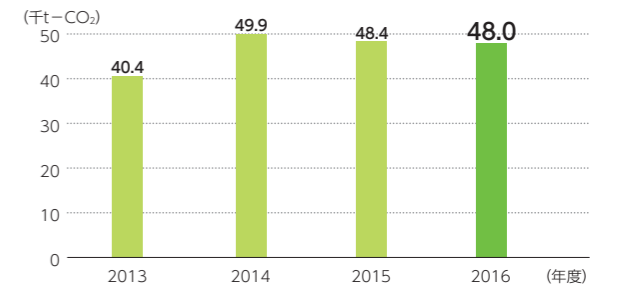
※② SOx(Sulfur Oxide)：硫黄酸化物。大気汚染や酸性雨などの原因の一つとなる有害物質。
 ※③ NOx(Nitrogen Oxide)：窒素酸化物。

環境中期3ヵ年計画で掲げた目標に対し、取り組みが不足していたテーマもありましたが、その点は反省するとともに、次年度の活動につなげていきたいと思えます。

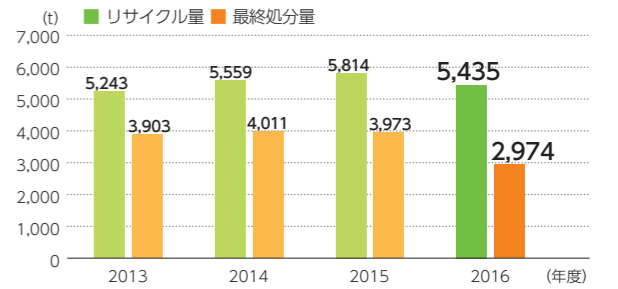
エネルギー使用量の推移原油換算



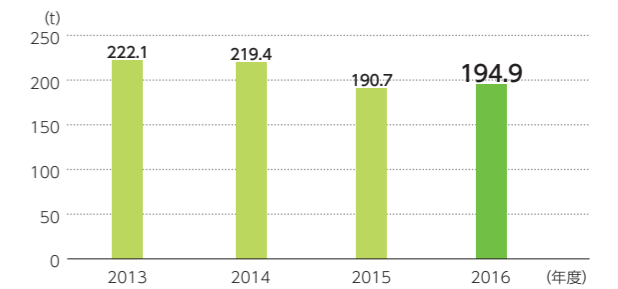
CO₂ 排出数量



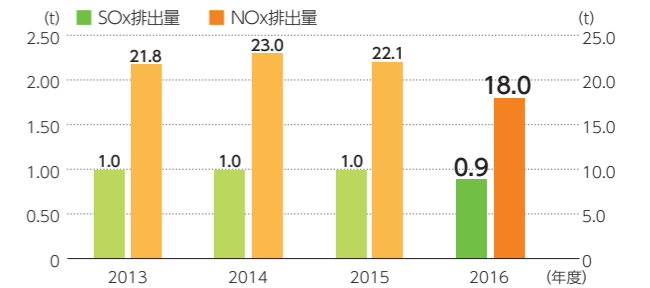
廃棄物 リサイクル量・最終処分量



PRTR対象物質排出量



SOx・NOx 排出量





環境管理活動の重点目標

従来、環境中期3ヵ年計画を立案し、EMS※活動の強化、環境負荷低減などに取り組んできましたが、その活動は製造事業所を中心としたものでした。環境に対する取り組みは当社グループにとって非常に重要なものであり、その取り組みは「環境方針」にあるように、全社員が参加すべきものだと考え、今年度からは「中期計画」という形ではなく、「重点目標」という形で本社・支社でも単年度の目標を設定し、環境管理活動を全社的に取り組んでいきます。

※ EMS: Environmental Management System の略で、環境方針を作成し、実施し、達成し、見直しかつ維持するための計画・体制・プロセスのこと。

● 環境管理活動 2017年度重点目標

事業所 活動目標

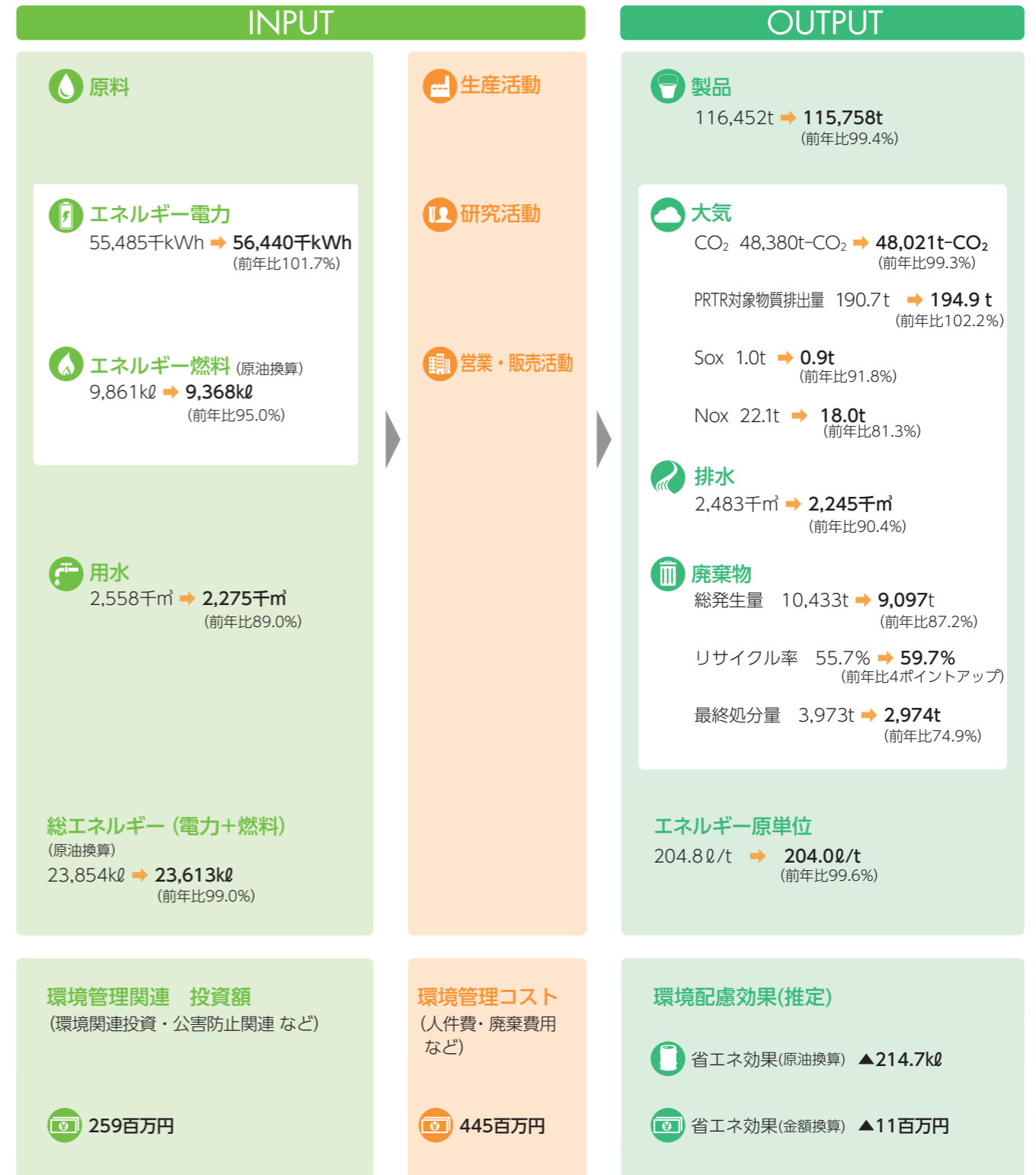
項目	取り組み内容	活動目標
1 地球温暖化対策 (エネルギーの有効利用)	エネルギーの有効利用に取り組み、エネルギー原単位の向上に努める。 ● モーターのインバーター制御による効率化 ● 照明器具のLED化 ● 生産設備の運転管理、工程改善の検討などの省エネ対策を実施する。	エネルギー原単位を2016年実績に対し1%削減を目指す。
2 環境配慮型製品の開発・売上高向上	環境配慮型製品開発を推進し、販売を促進する。	環境配慮型製品の売上高の向上を目指す。
3 廃棄物削減 リサイクル推進	全事業所で引き続き廃棄物発生量の抑制に取り組むとともに、リサイクル化を推進し、最終処分量の削減に努める。	リサイクル率を2016年実績から1ポイント向上を目指す。 廃棄物最終処分量を2016年実績に対し1%削減を目指す。
4 化学物質の排出量削減	PRTR対象物質の排出量削減に向けた取り組みを継続する。	PRTR対象物質の排出量を2016年度実績に対し1%削減を目指す。
5 法的要求事項の順守 (大気・水質・振動・騒音)	環境関連法令・基準の順守 各種届出の完全実施	法令違反ゼロ件で操業する。
6 社会との調和	過去に実施した苦情対応策を徹底する。	近隣の方からの苦情ゼロ件を目指す。

本社・支社 活動目標

項目	取り組み内容	活動目標
1 エネルギーの有効利用	空調設備の設定温度の見直しなどを行い、電力の効率的な利用を心がける。	本社・支社の電力使用量を2016年度実績に対し1%削減を目指す。
2 グリーン購入	コピー用紙などの事務用品に関し、可能な限り環境負荷の低いものを購入する。	

事業活動のマテリアルフロー

事業活動のため投入した資源・エネルギー量、発生した環境負荷に関する数値を把握・分析し、エネルギーの効率的な利用に向けた取り組みに反映させています。





化学物質管理体制

当社グループで取り扱っている化学物質を適正に管理するとともに、適正で安全な使用につなげるため、各委員会と連携した取り組みを行っています。また化学物質の安全性データを迅速に提供できる体制の整備を進めています。


化学物質管理委員会は各事業部の化学物質管理担当者及び購買などの担当部署の委員で構成され、当社グループで取り扱う化学物質を適正に管理し、製品及び作業者の安全につなげるための活動を行なっています。定期的

に開催される委員会では法改正情報などの各種情報を共有し、化学物質管理に関する課題について意見を取り交わし、対応につなげています。また、購入原材料に含有される化学物質を確認し、全社的な化学物質管理システムで管理することで、「入口」からお客様でご使用いただく「出口」まで適正に管理しています。

MESSAGE 委員会メンバーより

各委員会が協力して化学物質管理に取り組んでいます

近年の化学物質に関する要求は、法律で規制されている以上の管理が求められています。法規制以上の要求とは、化学物質を適正に管理することに加え、それを製品の安全性の確保、より安全で安心な環境・職場づくりにつなげていくことです。この要求に応えるために、購買本部や全社安全衛生委員会、環境委員会、品質管理委員会などと連携を取りながら、グループ全体の化学物質管理に取り組んでいます。



化学物質管理委員会 座長
鳥井 克俊

安全保障貿易管理

国際的な平和と安全を確保するため、安全保障貿易関連法令を順守し、大量破壊兵器や通常兵器の開発などに転用可能なモノや技術の拡散防止、過度な蓄積防止のため、輸出管理体制の維持・管理に努めています。

「安全保障貿易管理」は、国際的な安全を維持するうえで、非常に大切な取り組みです。特に輸出を行う企業にとつては、重要度の高いテーマと言えます。当社では一部の貨物や技術が規制対象となっており、それらが誤って無許可で輸出されることのないよう、輸出管理委員会を設置し、安全保障輸出管理規程に基づき、適正な輸出が実行される仕組みを運用しています。


また、規制対象となる貨物や技術の輸出に関しては、輸出管理内部規程を厳格に実施している企業のみに許される「包括輸出許可」を当社も取得しています。対象となる海外子会社は下記4社であり、厳しい自主管理のもとに適正に輸出しています。

- ① Dainichi Color(Thailand)Ltd.
- ② Dainichi Color Vietnam Co., Ltd.
- ③ 上海三井複合塑料有限公司
- ④ 東莞大日化工廠有限公司

MESSAGE 委員会メンバーより

関係者への意識付けを心がけています

当社は海外売上高比率の向上を目標に掲げ、積極的な海外展開を図っています。直接貿易や間接貿易で輸出される全ての貨物・役務などの該非判定を行い、それらを管理しています。「いくら注意しなくても、し過ぎることは無い」のが「該非判定」です。委員会で協議・決定した情報は、輸出担当者はもちろんのこと、間接的に輸出に関わる国内関係者にも共有して意識付けを行い、適正な輸出が実行される体制を維持しています。



輸出管理委員会 事務局
岡本 健志

日本

大日精化工業株式会社

営業拠点

- 東日本支社
- 北海道支店
- 仙台支店
- 北関東営業所
- 静岡営業所
- 富士営業所
- 中部支社
- 北陸支店
- 西日本支社
- 岡山支店
- 広島支店
- 四国支店
- 九州事業所(九州大日精化工業株式会社)

生産・技術サービス拠点

- 北海道支店
- 加須製造事業所(大日カラー・コンポジット株式会社)
- 川口製造事業所
- 東京製造事業所
- 赤羽製造事業所(浮間合成株式会社)
- 佐倉製造事業所(浮間合成株式会社 佐倉製造事業所)
- 成田製造所(ハイテックケミ株式会社)
- 東海製造事業所
- 東郷製造事業所(大日カラー・コンポジット株式会社 東郷製造事業所)
- 滋賀製造所
- 交野製造事業所(大日カラー・コンポジット株式会社 交野製造事業所)
- 大阪製造事業所
- 広島製造事業所(広島化工株式会社)*1
- 九州事業所(九州大日精化工業株式会社)
- 熊本事業所(九州化工株式会社)

関連会社

- ディー・エス・エフ株式会社
- 大日精化加工販売株式会社*2
- 株式会社カラープランニングセンター
- 株式会社タウンアート

*1 広島製造事業所(広島化工株式会社)は2017年10月に大日カラー・コンポジット株式会社への合併を決定しています。
*2 大日プラボード株式会社は2017年8月に社名を変更しています。

海外

アジア

- Dainichiseika (H.K.) Ltd.
大日精化(香港)有限公司
- Dainichiseika (H.K.) Colouring Co., Ltd.
大日精化(香港)化工廠有限公司
- Dainichiseika (Shenzhen) Trading Ltd.
大日精化貿易(深圳)有限公司
- Dongguan Dainichi Chemical Manufactory Co., Ltd.
東莞大日化工厂有限公司
- Daicolor Shanghai Mfg. Co.,Ltd.
大日精化(上海)化工有限公司
- Shanghai Daicolor & Fuji Co., Ltd.
上海大日富泉化工有限公司
- Shanghai Mitsui Plastic Compounds Ltd.
上海三井複合塑料有限公司
- Dainichiseika (Shanghai) Trading Ltd.
大日精化(上海)貿易有限公司
- Tai Chin Chemical Industry Co., Ltd.
台精化学工業股份有限公司
- AEOLIAN Corporation
亞祿股份有限公司
- Sambo Fine Chemicals Mfg. Co., Ltd.
三宝精密化学工業株式会社
- PT. Hi-Tech Ink Indonesia
- Esta Fine Color Corporation
- Dainichi Color Vietnam Co., Ltd.
- Dainichi Color (Thailand) Ltd.
- Dainichi Color India Private Ltd.

アメリカ

- Hi-Tech Color, Inc.
- Daicolor do Brasil Industria e Comercio, Ltda.
- DM Color Mexicana S.A. de C.V.

ヨーロッパ

- Daicolor Italy S.R.L.
- Daicolorchem EU, S.A.
- Plalloy MTD B.V.
- Dainichiseika Color & Chemicals Mfg. Co., Ltd. Europe Representative Office